

『齋久工業社員行動規範』

平成 26 年 4 月 1 日

当社は、経営理念に「快適で安全な生活を支える高品質な設備およびサービスを提供する」を
かけ、建築設備の分野から広く社会に貢献することを使命としています。

この「行動規範」を当社の役員および従業員が深く認識して公正で健全な事業活動に努めるこ
とにより、社会、顧客から高く信頼される企業を目指します。

1. 社会のニーズに合致した事業内容

私たちは、法令・倫理の遵守のみならず、説明責任、社会貢献、環境保全や反社勢力との関係断絶、
情報・資産管理など、社会のニーズに合致した事業を展開します。

(法令・倫理の遵守)

経営目標を達成することと、適法かつ倫理的な行動をとることはなんら矛盾することではなく、究
極的には当社への信頼と利益を生み出す源泉となることを認識し、すべての企業活動において、法令
の徹底遵守と、社会の常識と倫理観に沿った公正な行動を選択します。

[関連規程・文書 「コンプライアンス基本規程」]

(率先垂範)

経営者は、行動規範の実現が自らの役割であることを認識し、自ら率先垂範し関係者に周知徹底し
ます。

(説明責任と厳格な処分)

経営者は、法令違反行為、脱法行為、不祥事等重大な事件・事故が発生した場合には、自ら問題解
決にあたる姿勢を表明し、迅速な情報公開と説明責任を果たすとともに、原因究明と再発防止を図り、
責任を明確にして自らを含め厳正な処分を行います。

(社会貢献)

当社経営理念である「快適で安全な生活を支える高品質な設備およびサービスを提供する」のもと
建築設備業を営むことに誇りと自覚を持ち、「高品質」・「サービス」を重視する精神を忘れず、社会に
貢献します。

(環境保全・保護)

企業活動にあたっては、常に環境保護の重要性を十分に認識し、環境に関する法令等を遵守します。
社内の環境に対する意識向上を推進し、環境保護活動に積極的に取り組みます。

(寄付行為・政治献金規制)

政治献金や各種団体等への寄付を行なう際には、社内承認を得た上で正規の方法に則って行います。
贈賄、利益供与や違法な政治献金をはじめ、政治・行政等との癒着とみなされるような行動は一切行
いません。

(反社会的勢力との関係断絶)

市民生活の秩序や安全に脅威を与える反社会的な団体・個人に対しては毅然とした態度で臨み、一

切関係を持ちません。また名目に関わらず、いかなる利益の供与も行いません。

〔関連規程・文書 「特殊団体からの書籍等購入要求の対応について」〕

(国際ルールを理解)

異なる文化、習慣、価値観を理解し、グローバルな発想で活動します。

(内部ルールの遵守)

役員および従業員は、就業規則等に定められた遵守事項を守り、内部規程に則って忠実に職務を遂行します。業務上の判断やその実施に際しては、法令はもとより、内部ルールに反せず会社の利益に合致するかを考慮し行動します。

(利益相反行為の禁止と公私の峻別)

他社の役員、従業員、コンサルタント等として、競合会社や取引先のために働いたり、会社の取引先として事業を行うなど、会社と利害関係の対立を起すような活動に関わりません。

(機密情報、顧客情報の管理)

自社の機密情報は適切に管理し、社外に開示する場合は秘密保持契約を結ぶなど、会社が無断で社外に開示・漏洩しません。他社の機密情報や顧客等の個人情報についても適切に管理し、盗用したり、許された目的以外に使用せず、また不要となった媒体は返却もしくは適切に破棄するなど、処理を徹底します。自社の情報システムのセキュリティを高く保ち、社外への情報漏洩を防ぎます。

〔関連規程・文書「情報セキュリティ対策の徹底について」「電子化情報セキュリティ運用基準」〕

(インターネット使用に関する事項)

インターネットの使用に際しては、別途定める電子情報・文書管理規程に従って行動します。また、ウェブサイト上に不適切、不快、他人を誹謗中傷するような内容の情報を書き込むこと、またそのようなサイトにアクセスする事を禁じます。

(知的財産権の保護)

会社の知的財産権は、重要な会社資産であり、これらを適切に利用し、その権利の保全に努めます。他社の知的財産権は適切な契約を締結した上で使用し、コンピュータソフトの無断コピーなど、知的財産権を侵害する行為や不正使用は一切行いません。

(会社の資産の適切な使用)

会社の資産は効率的に活用し、常に利用できる状態におく必要があることを認識し、有形無形を問わず、毀損、盗難等を防ぐよう適切に取り扱います。個人的な目的で会社の資産や経費を使用しません。

(適切な会計処理)

会計帳簿への記帳や伝票への記入にあたっては正確に記載し、虚偽または架空の記載を行ったり、簿外の資産を築いたりしません。

2. ステークホルダーからの信頼

私たちは、顧客、取引先、競合他社、株主などのステークホルダーからの信頼と期待に応え、誠意をもって公正に取引を行います。

(顧客満足と信頼の獲得)

顧客第一・最終消費者重視のサービスに徹し、すべての顧客に誠意をもって公正かつ公平に接します。

(事故・トラブルへの対応)

得意先への事故・トラブル発生の未然防止のため、万全の措置を実施します。また、万が一事故・トラブルが発生した場合には迅速に適切な対応を行い、拡大防止に最大の努力を行います。

(公正で自由な企業間競争の確保)

談合、再販売価格の維持、優越的地位の濫用などの行為を一切行わず、自社の優れている点をアピールすることにより、公正で自由な企業間競争を行います。

(不正競争・不当表示の防止)

不正な手段によって他社の営業秘密を取得・使用しません。企業活動や広告宣伝等において競合他社サービス等との比較が必要なきには、正確な情報をもとにこれを行い、誤解を生じさせる行為や誹謗中傷行為を一切行いません。

(適切な購買・委託の実施)

購買先の選定にあたっては、品質、価格、技術開発力、安定供給等諸条件を公平に比較、評価し、最適な取引先を決定します。また、業務委託を行う際には、建設業法を十分に理解したうえで支払遅延等の行為を行わないように留意し、契約および取引を行います。

[関連規程・文書 「建設業法遵守徹底のお願い」]

(節度ある接待・贈答)

取引先への接待・贈答を行う場合、または受ける場合は、社会通念の範囲内とします。公務員等に対して、営業上の不正な利益を得るため、またはビジネス上の便宜供与の見返りとして、金銭等の利益の供与は一切行いません。

(経営の透明性確保)

株主等に対して、当社の財務内容や企業活動状況等の経営情報を正確かつ適時に開示するとともに、それらに対する意見を収集し、これを謙虚に受け止めます。

(インサイダー取引の禁止)

当社、業務上関係のある取引先、競合相手、または顧客に関する業務上知り得た内部情報の取扱いに注意し、これらを有価証券等の売買に利用しません。

3. 自由闊達で清新な社風

私たちは、オープンで明るい企業風土を維持し、人権を尊重し、健全・安全で働きがいのある職場環境をつくりまします。

(オープンで明るい企業風土の維持)

オープンで明るい企業風土を維持し、従業員の人格や個性を相互に尊重し、信頼関係を築くことで組織内において自由闊達な意見交換を行います。ネガティブ情報の報告、把握、共有は積極的に行います。

(人権尊重)

役員および従業員各自の人権を尊重し、性別、信条、身体的条件、社会的身分等による差別は一切行いません。セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの様な嫌がらせ行為、又はそれらと誤解されるおそれのある行為は行いません。

〔関連規程・文書 「職場におけるセクシュアルハラスメントの対応について」〕

(職場環境)

勤務日や勤務時間管理を徹底し、過度な残業を強いるような業務の押しつけをせず、健全で働きがいのある職場環境の維持に努めます。また、職場環境の安全性にも配慮します。

(プライバシーの保護)

業務上知り得た役員および従業員および社外の人間の個人情報については、当該業務目的のみに使用し、社内外に漏洩しないように厳重に管理します。

〔関連規程・文書 「個人情報管理規程」「個人情報保護方針」「個人情報に関する取扱いについて」〕

(不透明な慣習の排除)

部下から上司への金品の提供は、それが昇進・昇格や異動等の決定の公正さに対する疑義を招く恐れがあるとの観点から、中元・歳暮の類を含め認めません。但し、冠婚葬祭等に関しては常識の範囲でこれを認めます。

平成 26 年 3 月 26 日改正